



地いきの 人にありがとう

岩手県大船渡市の海の近くにある 小学校でのお話です。



↑ 越喜来小学校の子どもたち

ぼくたちの越喜来小学校は、2011（平成23）年3月11日の大
つなみで大きなひがいをうけました。ぼくたちは、ぜん国のみなさ
んから数え切れないほどのぶっしやおうえんの手紙をいただきました。
今までぼくたちが知らなかった人からのあたたかい心づかいに
どんなにはげまされたり、元気をいただいたりしたことか、ことば
では言いあらわすことはできません。ほんとうにありがとうございました。

もう一つ「ありがとう」があります。それは、つなみからぼくた
ちのいのちをまもってくれた、ひなんのときにつかうひじょう通り
です。このひじょう通りは、市ぎ会ぎいんをしていた平田さんがて
いあんしゃになり、地いきの人たちのねがいでかんせいしました。
地いきの人たちは、つなみのひがいをけいけんしていたので、「つ

なみが来たときに子どもが1かいに下り、外に出ていたら間に合わ
ない。2かいから直せつ道に出たほうが早いので、ひじょう通りを
つけたほうがいい」と、長い間、市におねがいをしてくれました。
そのおかげで、校しゃの2かいと道を直せつつなくひじょう通り
が、かんせいしました。ぼくたちは、できあがったひじょう通りを
つかってひなんくんれんをしました。すると、ひじょう通りのおか
げでひなんする時間は、6分から3分にみじかくなりました。

そのわずか3か月後に東日本大しんさいがおこりました。つなみ
は学校の3かいをのみこむぐらい、とても大きなものでした。で
も、ぼくたちはひなんくんれんのとおりに、ひじょう通りをつかっ
て71人ぜんいんがぶじにひなんすることができました。

ぼくたちのぶじを地いきの人たちがよろこんでくださいました。
地いきの人たちのねがいが、ぼくた
ちのいのちをまもってくれました。
ぜんいんがかんしゃの気持ちでいっ
ぱいです。

